



日本共産党品川区議会議員

週刊 **みやさき克俊** かつとし

2010年10月24日 No.725

事務所:品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674



共産党 品川

検索

# 子宮頸がんワクチン

半額を  
助成

## 中学1年対象に、1月から実施へ

### <助成内容>

○対象：**中学1年生女子** 2010年度は中学2・3年女子も  
※20歳も対象とする。

○助成額：**接種費用(1回16,000円)の半額を3回分**  
※助成額は、 $16,000円 \div 2 \times 3回 = 24,000円$   
6ヶ月の間に3回接種しますが、スケジュールの  
関係上2010年度は2回のみ助成

○助成開始：**2011年1月(予定)**

○接種：品川区医師会および  
荏原医師会に委託  
※詳細は調整中



品川区は年明けの1月から子宮頸がんワクチン予防接種費用に  
対する助成を始めることにしました。新日本婦人の会などから子  
宮頸がんワクチン接種への助成実施を求めて区議会に請願。日本  
共産党は要望を受けて助成を実現するよう求めてきました。

子宮頸がんは20〜30代に急増  
しており、日本の20代女性では  
発症率が一番高いがんです。年  
間1万5千人が発症し、約3千  
500人が命を落としています  
が、唯一ワクチンで予防できる  
がんといわれています。  
子宮頸がんは、発がん性HP  
V(ヒトパピローマウイルス)の  
感染が原因です。5〜6年前か  
ら予防ワクチンの承認が広がり  
公費による接種は先進30カ国で  
実施しています。ワクチンは将  
来の感染予防が目的です。日本  
産婦人科学会などの専門家は11  
〜14歳での接種を推奨していま  
す。予防効果を高めるために、  
ワクチン接種とあわせて子宮が  
ん検診の受診も呼びかけていま  
す。

高齢福祉と  
待機児解消

# 「公約」の具体化を 区長に実行迫る

区長選・区議補選後はじめての区議会定例会が10月21日から11月16日までの日程で行われます。日本共産党区議団の本会議での質問は安藤たい作議員です。以下、質問のタイトルと要旨を紹介します。

## 1. 区長も選挙で語れなかった「国際都市品川」

### 区民が望むくらしと福祉 優先の区政へ転換を

濱野区長は選挙で長期計画の柱である大規模開発を区内各地で進める「国際都市品川」は一言も語らず、逆に、長期計画で後景に置いてきた高齢者福祉と保育園の待機児解消を公約に掲げた。長期計画は見直し、福祉施策の具体化を求める。

## 2. マンション販売不振

第一日野小跡の(株)TCCの駐車場としての貸付が始まった。

### 破たんした計画に更なる税金投入で進める再開発は見直しを

再開発が、マンションの販売不振と権利交換の「とん挫」で破たんした。区長はさらに開発を区内各地に広げすすめる構えだが、見直しを求める。

## 3. 第一日野小跡は(株)TCCの駐車場ではなく、特養ホームや認可保育園、公園など住民要望を第一に。

第一日野小跡の(株)TCCの駐車場としての貸付が始まった。

当面は校庭部分だけだが、TCCビルが建て替える時には、旧校舎を取り壊して全面的に駐車場として貸し出す計画だ。貸出期間も不明であり、手続きや公有地活用の観点から問題があり住民は納得していない。計画は白紙に戻して待機者多数の特養ホームや認可保育園、公園など区民要望に応える活用に切り替えに求める。

## 4. 温暖化とヒートアイランドで住めないまちに

### 熱中症対策とまちを冷やす緊急・抜本対策は待ったなし

今夏は30年に一度の異常気象だった。気象庁は再来すると予想しているが、区民の声明を守る対策は待ったなしだ。熱中症対策とともに区民、事業者、区がすぐに行動できる緊急対策とまちづくり、環境問題としての抜本策を提案する。

お困りのときは  
お気軽に  
ご相談ください

●くらし・区政の相談はいつでも受け付けます。

●無料法律相談は11月12日(金)  
Pm6:30～です。  
弁護士が対応します



日本共産党 **みやざき克俊** 事務所  
品川区豊町6-2-1 TEL3786-6674

## 都営住宅 入居者募集のお知らせ

希望される方は  
忘れずに応募を

申し込み—11月1日(月)から  
申込書配布—区役所、地域センターなど  
問合せ先—品川区役所都市計画課

※品川生活と健康を守る会の入居相談会は  
TEL3773-2391へお問い合わせください。

